

進路指導部通信

県立高等特別支援学校
進路指導部

2021. 11. 5 NO. 6

来週より現場実習が始まります。

本校では現場実習が春と秋に2度あります。秋の実習は1年生にとっては初めての校外での実習であり、2年生は職員の引率のない1～2名での実習となります。これまでは4名1組でお互いに協力できることもあったかもしれませんが、これからは問題があっても自分で対処していかなければなりません。難しいこともあるかもしれませんが、「自立への一歩」と捉えて取り組んで欲しいと思います。



進路指導部通信第3号でも申しましたように、行事の時だけ頑張る「行事人間」では真の力はつかず、日常生活での取り組みが大事になってきます。ただし、行事というのはさらなる成長、またはそれまでの取り組みは十分ではなかったが、実習を通して自分自身が変わるきっかけになるという意義があると思っています。

保護者の皆様におかれましては、日々の送り出し、日誌記入、反省会への出席等ご協力をお願いします。



職業準備性（働く準備）について

前回申し上げた「働く準備」について、まずはいつも言っている「4つの車輪（4項目）を思い出して欲しいと思います。裏面に「職業準備性ピラミッド」というものがありますので自己診断してみてください。診断のためのチェックリストもありますが、量が多いためここでは省略します。「だいたいできている」と感じたら、図に色を塗って下さい。

捉え方として、ピラミッドの上の部分に塗った色が少ない場合は、仕事内容の工夫や支援センターによる支援、企業側の配慮によって何とかなる部分もあるかもしれませんが、しかし、ピラミッドの下に行けば行くほど「働く以前の問題」で、ここに色が多いと「一般就労は厳しい」と言わざるを得ない、と思っています。

職業準備性ピラミッド

「安定した職業生活のための職業準備性」にはさまざまな側面（段階）があります。「就労移行支援のためのチェックリスト」を活用して、あなたの「職業準備性」のどの側面（段階）がどのような状態かをまず、把握してみましょう。

できているもの（チェックリストの1か2に○がついたもの）は○に色を塗りましょう。

